

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 国語 科目： 国語A 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 国語 1 『光村図書』 ）

教科	国語	の目標：
【知識及び技能】	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	

科目 国語A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A『ダイコンは大きな根?』 【知識及び技能】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1 文章の中心的な部分を捉える。 2 段落の役割について考える。 ・教材 教科書・便覧 ・一人1台端末の活用 身近な事例と文章内容を結びつけ、考察する問を発信し、共有する。	○		○	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 【態】文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。	○	○	○	5
	B『ちょっと立ち止まって』 【知識及び技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1 文章の構成に着目し、要旨を捉える。 2 文章の構成に着目し、その効果を考える。 ・教材 教科書・便覧 ・一人1台端末の活用 身近な事例と文章内容を結びつけ、考察する問を発信し、共有する。	○		○	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 【態】進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	C『「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ』 【知識及び技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1 文章の構成と内容を捉える。 2 論の展開に着目し、その効果を考える。 3 結論に説得力をもたせるために、どのような工夫をしているか、本文の記述や図表などを根拠として、自分の考えを文章にまとめる。 ・教材 教科書・便覧 ・一人1台端末の活用 身近な事例と文章内容を結びつけ、考察する問を発信し、共有する。	○	○		【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。	○	○	○	6
	D『言葉のちぐはぐ』 【知識及び技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1 文章の構成と内容を捉える。 2 論の展開に着目し、その効果を考える。 3 文章の要点を捉え、要約をする。 ・教材 教科書・便覧 ・一人1台端末の活用 要約の作成	○	○		【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって文本文をまとめようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1

	E『口語文法』 【知識及び技能】 ・単語の類別について理解することができる。 ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1言葉のまとまりについて考える。 2文法の定義を理解する。 3「文章・談話」「段落」「文」「文節」「単語」の違いと各々の特徴を理解する。 4指示する語句、接続する語句について理解する。 5単語の性質について理解する。 ・教材 教科書・便覧 一人1台端末の活用 課題等の配信				【知・技】 ・単語の類別について理解している。 ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 ・単語の類別について理解している。 【態】 ・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割、単語の類別について理解を深めようとしている。	○	○	○	3
	F『口語文法』（用言） 【知識及び技能】 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1「活用」の意味や用語について理解する。 2 動詞の活用について理解する。 3 形容詞・形容動詞の活用について理解する。 ・教材 教科書・便覧 一人1台端末の活用 課題等の配信。				知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。	○	○	○	8
	G『漢文の基礎』（訓読とは） 【知識及び技能】 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 漢文の音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を理解する。 ・教材 教科書・便覧 一人1台端末の活用 課題等の配信	○			【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 【態】積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。	○	○	○	5
	H今に生きる言葉 漢文『矛盾』 【知識及び技能】 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を読んで理解したことに基いて、書く内容の中心が明確になるようにし、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1 漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しむ。 2 本文を読み、故事成語について理解する。 3 故事成語を使って、体験文を書く。 ・教材 教科書・便覧 一人1台端末の活用 課題等の配信、意見文の共有	○	○	○	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものに行っている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 【態】積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
2 学 期	I『「不便」の価値を見つめ直す』 【知識及び技能】 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。 ・文章を読んで理解したことに基いて、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1 筆者の考えを要約する。 2 根拠を明確にして、意見をまとめる。 ・教材 教科書・便覧 一人1台端末の活用 課題等の配信、意見文の共有		○	○	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ・文章を読んで理解したことに基いて、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【態】積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。	○	○	○	8
	J『〈近代〉の入口と出口のあいだ』 【知識及び技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1 文章の構成と内容を捉える。 2 論の展開に着目し、その効果を考える。 3 文章の要点を捉え、要約をする。 ・教材 教科書・便覧 一人1台端末の活用 課題等の配信	○	○		【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって文本文をまとめようとしている。	○	○	○	6
	K『自然・人為・時間』 【知識及び技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1 文章の構成と内容を捉える。 2 論の展開に着目し、その効果を考える。 3 文章の要約をする。 ・教材 教科書・便覧 一人1台端末の活用 要約の作成	○	○		【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって文本文をまとめようとしている。	○	○	○	3

	定期考査								○	○		1	
3 学 期	L『風土』 【知識及び技能】 原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切に，思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1 文章の構成と内容を捉える。 2 論の展開に着目し，その効果を考える。 3 文章の要点を捉え、要約をする。 ・教材 教科書・便覧 ・一人1台端末の活用 要約の作成				○	○	【知・技】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において，文章の構成や展開について，根拠を明確にして考えている。 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え，学習の見通しをもって本文をまとめようとしている。		○	○	○	3
	M『経済思想入門』 【知識及び技能】 原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切に，思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1 文章の構成と内容を捉える。 2 論の展開に着目し，その効果を考える。 3 文章の要点を捉え、要約をする。 ・教材 教科書・便覧 ・一人1台端末の活用 要約の作成				○	○	【知・技】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において，文章の構成や展開について，根拠を明確にして考えている。 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え，学習の見通しをもって本文をまとめようとしている。		○	○	○	3
	N『「貨幣」と「言語」一価値の起源をめぐって』 【知識及び技能】 原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づくとともに，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切に，思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 1 文章の構成と内容を捉える。 2 論の展開に着目し，その効果を考える。 3 文章の要点を捉え、要約をする。 ・教材 教科書・便覧 ・一人1台端末の活用 要約の作成				○	○	【知・技】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において，文章の構成や展開について，根拠を明確にして考えている。 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え，学習の見通しをもって本文をまとめようとしている。		○	○	○	22
													合計
	定期考査								○	○		88	

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 国語 科目： 国語B 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 光村図書 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A『野原はうたう』『声を届ける』 【知識及び技能】 音声の働きや仕組みを深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な表現技法を使い分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語を大切にし、思いや考えを伝えようとする。	・指導事項 話題や展開を捉えて話し合わせる。 ・教材 教科書・便覧 ・一人1台端末の活用 端末を利用して「春」の詩を探させる。			○	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・情景や心情を表す表現に応じて、音読の仕方を工夫している。 ・小学校での学習を生かして音読しようとしている。	○	○	○	4
	B『シンシユン』『季節のしおり 春』 【知識及び技能】 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語感を磨く。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情の変化などについて描写を基に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 物語を読み、考えたことを記録し、他者に伝える。	・指導事項 心情を表す語句の量を増やし、活用させる。 ・教材 教科書・辞書 ・一人1台端末の活用 課題の提出等			○	・心情を表す語句の量を増やし、文脈上の意味との関係に注意して活用している。 ・場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。 ・描写を基に積極的に捉え課題にそって感想を交流しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	C「季節のしおり 夏」『大人になれなかった弟たちに……』 【知識及び技能】 知識や情報を得て、自分の考えを広げたりすることに役立てる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面の展開や登場人物の心情の変化について捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語を大切にして、思いや考えを他者に伝えようとしている。	・指導事項 事象や行為、心情を表す語句の量を増やさせる。 ・教材 教科書・辞書・便覧 ・一人1台端末の活用 季節の言葉を探させる。			○	・読者が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることを理解している。 ・登場人物の心情変化について、描写を基に捉えることができる。 ・描写を基に、積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。	○	○	○	8
	D『星の花が降るころに』 【知識及び技能】 さまざまな表現技法を理解し使う。 【思考力、判断力、表現力等】 場面と描写を結びつけて、内容の解釈をする。 【学びに向かう力、人間性等】 小説を読んで考えたことを記録したり、伝えあったりする。	・指導事項 言語の特徴を捉えて理解し、活用させる。 ・教材 教科書・辞書・便覧 ・一人1台端末の活用 人の感情を表現する言語を検索させる。			○	・テキストに書かれている表現から、何にたとえられているか、理解している。 ・場面と人物の描写を結び付けて、内容を深く解釈している。 ・描写を基に、積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
2 学 期	E『いろは歌』『季節のしおり 秋』 【知識及び技能】 文語のきまりや訓読の仕方を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 繰り返し音読し、聞き手に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値に気づき、進んで音読し、言語文化を大切にする。	・指導事項 古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しませる。 ・教材 教科書・辞書・便覧 ・一人1台端末の活用 季節の言葉を探させる。 いろは歌の朗読を視聴させる。			○	・テキストに書かれている表現から、何にたとえられているか、理解している。 ・場面と人物の描写を結び付けて、内容を深く解釈している。 ・描写を基に、積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査						○	○		1
	F『竹取物語―蓬莱の玉の枝』 「季節のしおり 冬」 【知識及び技能】 文語のきまりや訓読の仕方を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 場面の展開や登場人物の心情変化を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値に気づき、進んで音読し、言語文化を大切にする。	・指導事項 古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しませる。 ・教材 教科書・辞書・便覧 ・一人1台端末の活用 季節の言葉を探させる。 いろは歌の朗読を視聴させる。			○	・テキストに書かれている表現から、何にたとえられているか、理解している。 ・場面と人物の描写を結び付けて、内容を深く解釈している。 ・描写を基に、積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1

3 学 期	G『少年の日の思い出』 【知識及び技能】 心情を表す語句の意味を理解し、文章の中で正しく活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 【学びに向かう力、人間性等】 物語を読み、考えたことなどを記録したり伝えあったりする。	・指導事項 事象や行為、心情を表す語句の量を増やさせる。 ・教材 教科書・辞書・便覧 ・一人1台端末の活用 作者ヘルマン・ヘッセについて調べる。	○	○	・テキストに書かれている表現から根拠を明確にして考察させる。 ・場面と人物の描写を結び付けて、内容を深く解釈している。 ・描写を基に、積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。	○	○	○	12	
	H『随筆二編』 【知識及び技能】 語感を磨き、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読み、考えたことなどを記録し、伝えあったりする。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の言語文化を大切に、思いや考えを伝えあう。	・指導事項 目的に応じて必要な情報を抜き出し、内容を理解させる。 ・教材 教科書・辞書 ・一人1台端末の活用 身近にあったことを随筆として書かせ提出させる。	○	○	○	・テキストに書かれている表現から、どのような思いがあるか理解している。 ・場面の展開や描写に着目しながら、筆者の思いを捉えている。 ・今までの学習を生かして考えたことを伝えあおうとしている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		合計 88	

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科： 社会 科 目： 地理的分野 単位数： 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組

使用教科書： (新しい社会 地理（東京書籍）、中学校社会科地図（帝国書院）)

教科 社会 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 地理、歴史、政治・経済、国際関係等に関する知識の習得。情報・資料等を効果的に収集し活用する技能の習得。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的事象を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて考察する力の育成。考察した内容を基に議論し、その結果を適切に発表する力の育成。

【学びに向かう力、人間性等】 社会的課題に主体的に関わり解決しようとする態度を育成し、国民主権を担う公民としての資質と、他を尊重することのできる姿勢の育成。

科目 地理的分野 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本及び世界の諸地域に関して、諸事象や特色に関する知識の習得。情報・資料等を収集し効果的に活用する地理的技術の習得。	事象に関して、地理的な見方・考え方に基づいて考察し、課題の解決に向けて考察する力の育成。考察した内容を基に議論し、その結果を地理的な手法を活用して発表する力の育成。	日本及び世界の社会的課題に主体的に関わり解決しようとする態度を育成し、日本の諸地域・世界の諸地域の多様性を理解し尊重することのできる姿勢の育成。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	世界と日本の地域構成 【知識及び技能】 世界・日本の地域構成に関する知識の習得。 日本の位置・領域に関する知識の習得。 地図図法に関する知識の習得。 経緯度を利用する技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 世界・日本の地域構成に関する考察。 【学びに向かう力、人間性等】 獲得した知識・技能を基に、世界・日本の構成を理解しようとする姿勢の育成。	・指導事項 世界の国、日本の都道府県 経緯度、日本の位置、領域 地図図法 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 各種地図の閲覧	【知識・技能】 世界・日本の構成に関する知識を習得したか。 地図の図法に関する知識を習得したか。 経緯度を適切に用いる技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 世界・日本がどのように構成されているかを適切に考察したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界・日本がどのように構成されているかを積極的に知ろうとしたか。	○	○	○	6
	世界各地の人々の生活と環境 【知識及び技能】 世界の自然環境に関する知識の習得。 世界の主な宗教に関する知識の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 自然環境と人間生活の関連に関する考察。 【学びに向かう力、人間性等】 宗教と人間生活の関連に関する考察。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と人間生活の関連について積極的に探ろうとする姿勢の育成。	・指導事項 様々な自然環境で暮らす人々 世界の主な宗教 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 景观写真などの閲覧、各種資料の検索	【知識・技能】 世界の自然環境・民族に関する知識を習得したか。 【思考・判断・表現】 自然環境・宗教と人間生活に関して適切に考査したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境と人間生活の関連について積極的に探ろうとしたか。	○	○	○	7
	定期考査 世界の諸地域 【知識及び技能】 アジア州に関する知識の習得。 アジア州の資料・情報を収集する技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から、アジア州の特色を考察する力の習得。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア州の特色を積極的に理解しようとする姿勢の育成。	・指導事項 多様性を視点を中心においてアジア州を概観する。（主に東アジア） ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 アジア州に関する知識を習得したか。 資料・情報を収集する技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 知識・情報からアジア州の特色を適切に考察したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア州の特色を積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	世界の諸地域 【知識及び技能】 アジア州に関する知識の習得。 アジア州の資料・情報を収集する技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から、アジア州の特色を考察する力の習得。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア州の特色を積極的に理解しようとする姿勢の育成。	・指導事項 多様性を視点を中心においてアジア州の概観。（主に東南アジア、南アジア、西アジア） ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 アジア州に関する知識を習得したか。 資料・情報を収集する技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 知識・情報からアジア州の特色を適切に考察したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア州の特色を積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	世界の諸地域 【知識及び技能】 アフリカ州に関する知識の習得。 アフリカ州の資料・情報を収集する技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から、アフリカ州の特色を考察する力の習得。 【学びに向かう力、人間性等】 アフリカ州の特色を積極的に理解しようとする姿勢の育成。	・指導事項 環境問題を視点を中心においてアフリカ州の概観 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 アフリカ州に関する知識を習得したか。 資料・情報を収集する技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 知識・情報からアフリカ州の特色を適切に考察したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 アフリカ州の特色を積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	3

	世界の諸地域 【知識及び技能】 ヨーロッパ州に関する知識の習得。 ヨーロッパ州の資料・情報を収集する 技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から、ヨーロッパ 州の特色を考察する力の習得。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ州の特色を積極的に理解し ようとする姿勢の育成。	・指導事項 地域統合を視点を中心においたヨー ロッパ州の概観 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 ヨーロッパ州に関する知識を習得したか。 資料・情報を収集する技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 知識・情報からヨーロッパ州の特色を適切に考察し たか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパ州の特色を積極的に理解しようとした か。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	世界の諸地域 【知識及び技能】 北アメリカ州に関する知識の習得。 北アメリカ州の資料・情報を収集する 技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から、北アメリカ 州の特色を考察する力の習得。 【学びに向かう力、人間性等】 北アメリカ州の特色を積極的に理解し ようとする姿勢の育成。	・指導事項 産業を視点を中心においた北アメリカ 州の概観 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 北アメリカ州に関する知識を習得したか。 資料・情報を収集する技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 知識・情報から北アメリカ州の特色を適切に考察し たか。 【主体的に学習に取り組む態度】 北アメリカ州の特色を積極的に理解しようとした か。	○	○	○	7
	世界の諸地域 【知識及び技能】 南アメリカ州に関する知識の習得。 南アメリカ州の資料・情報を収集する 技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から、南アメリカ 州の特色を考察する力の習得。 【学びに向かう力、人間性等】 南アメリカ州の特色を積極的に理解し ようとする姿勢の育成。	・指導事項 民族問題を視点を中心においた南アメ リカ州の概観 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 南アメリカ州に関する知識を習得したか。 資料・情報を収集する技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 知識・情報から南アメリカ州の特色を適切に考察し たか。 【主体的に学習に取り組む態度】 南アメリカ州の特色を積極的に理解しようとした か。	○	○	○	5
	世界の諸地域 【知識及び技能】 オセアニア州に関する知識の習得。 オセアニア州の資料・情報を収集する 技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から、オセアニア 州の特色を考察する力の習得。 【学びに向かう力、人間性等】 オセアニア州の特色を積極的に理解し ようとする姿勢の育成。	・指導事項 オセアニア州の基本的な情報 グループ学習による文献調査 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 オセアニア州に関する知識を習得したか。 資料・情報を収集する技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 知識・情報からオセアニア州の特色を適切に考察し たか。 適切にレポートを作成したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 オセアニア州の特色を積極的に理解しようとした か。	○	○	○	7
	定期考査				○	○	
							合計
							78

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：社会 科目：歴史 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～D組

使用教科書：『中学社会－日本と世界－』（山川出版社）

教科 社会科の目標：

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史の目標：

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	嗽
1 学 期	A. 歴史との対話 1. 私たちと歴史 ・中学校の歴史的分野の学習の導入として、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げながら、歴史学習の基本的な知識や技能である年代の表し方や時代区分の内容を理解させる。 ・時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、時代区分との関わりなどについて考察し、表現させる。	〈指導事項〉 ◦オリエンテーション ◦時期や年代の表し方 ◦歴史の流れの捉え方 ◦時代の特色の捉え方 〈教材等〉 ・ワークシート ・年表、資料集	【知識及び技能】 ○年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。資料から歴史に関わる情報を読み取ったり年表などにまとめたりするなどの活動を通して、その技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○年代の表し方や時代区分の意味や意義、小学校での学習を踏まえた情報の読み取りやまとめる学習を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	◎	6
	B. 古代までの日本 1. 世界の古代文明 ・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解させる。 ・古代文明や宗教がおこった場所	〈指導事項〉 ◦歴史学習の意義 ◦人類の出現と進化 ◦文明のおこり ◦世界の古代文明 ◦中国文明の発展	【知識及び技能】 ○諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめ、世界の各地で文明が築かれ、宗教がおこったことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】				

1 学 期	や環境、農耕の広まりや生産技術の発展に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・世界の古代文明や宗教のおこりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	◦ギリシャ・ローマの文明 ◦宗教のおこりと三大宗教 〈教材等〉 ・教科書、資料集 ・補助プリント ・ワークシート ・実物教材	○古代文明や宗教がおこった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、世界の古代文明について、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○世界の古代文明や宗教のおこりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	◎	○	○	8
	2. 日本列島における国家形成 ・日本列島における農耕の広まりと生活の変化、大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。 ・農耕の広まり、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本列島における国家形成について、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本列島における国家形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	〈指導事項〉 ◦旧石器時代の生活 ◦縄文時代の生活 ◦弥生時代の生活 ◦小国の成立 ◦古墳文化 ◦大和政権と東アジア ◦渡来人の活躍 〈教材等〉 ・教科書、資料集 ・補助プリント ・ワークシート ・実物教材、視聴覚教材(DVD)	【知識及び技能】 ○諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されいったことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○農耕の広まり、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、日本列島における国家形成について、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○日本列島における国家形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	◎	○	8
	中間検査・期末検査			◎	○		2
2 学 期	3. 律令国家の形成 ・律令国家の確立に至る過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解させる。 ・東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	〈指導事項〉 ◦聖徳太子の政治改革 ◦飛鳥文化 ◦大化改新 ◦律令国家の成立 ◦律令国家のしくみ ◦平城京 ◦奈良時代の人々の生活 ◦天平文化 ◦平安京と律令制の変化 ◦摂関政治 ◦貴族の生活 ◦仮名文字の発展 ◦国風文化 ◦古代の大観 〈教材等〉 ・教科書、資料集 ・補助プリント ・ワークシート ・実物教材、視聴覚教材(DVD)	【知識及び技能】 ○諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめ、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ○東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについてそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	◎	◎	○	17
	C. 中世の日本 1. 武士の政権の成立	〈指導事項〉 ◦武士のおこり	【知識及び技能】 ○諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめ、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ○東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについてそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。				

		- 鎌倉幕府の成立などを基に、武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解させる。 - 武士の政治への進出と展開、農業や商工業の発達などに着目して事象を相互に関連付けるなどして武家政治の成立について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 - 武家政治の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	- 荘園の発達 - 平氏の政治と源平の争乱 - 鎌倉幕府の成立 - 執権政治 - 武士の社会と生活 - 民衆の生活 - 鎌倉時代の宗教 - 鎌倉文化 - 肖像画の謎 〈教材等〉 - 教科書、資料集 - 補助プリント - ワークシート - 視聴覚教材(DVD)	的に調べまとめ、武士が台頭とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○武士の政治への進出に着目して、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。鎌倉時代の産業の発達、文化の広がりに着目して、中世の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○武家政治の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	◎	○	○	12
		中間考査・期末考査			◎	○		2
3 学 期	2. 武士の政治の展開とユーラシアの動き	- ユーラシア世界の変化と東アジアにおける交流、鎌倉幕府の滅亡から応仁の乱後の社会の変化、諸産業の発達、自治的な仕組み、武士や民衆の文化などを基に、東アジアとの密接な関わりや民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。 - 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、諸産業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 - ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	〈指導事項〉 - モンゴル帝国とユーラシア世界 - モンゴルの襲来 - 鎌倉幕府の滅亡 - 建武の新政と南北朝の争乱 - 室町幕府 - 東アジアとの交流 - 応仁の乱 - 戦国大名の成立 - 産業の発達 - 都市と農村の自治 - 民衆の成長 - 室町文化 - 中世の大観 〈教材等〉 - 教科書、資料集 - 補助プリント - ワークシート - 実物教材、視聴覚教材(DVD)	【知識及び技能】 ○諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめ、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことや民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、諸産業の発達などに着目して、ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	◎	◎	14
	D. 近世の日本 1. ヨーロッパ人の来航と織田・豊臣の統一事業	- ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。 - 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと織田・豊臣の統一事業について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 - 世界の動きと統一事業についてそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	〈指導事項〉 - 中世ヨーロッパとイスラム世界 - ルネサンスと宗教改革 - 新航路の開拓 - ヨーロッパ人の来航 - 織田信長の統一事業 - 豊臣秀吉の全国統一 - 太閤検地と刀狩 - 朝鮮侵略 - 桃山文化 〈教材等〉 - 教科書、資料集 - 補助プリント - ワークシート - 実物教材、視聴覚教材(DVD)	【知識及び技能】 ○諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめ、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○交易の広がりとその影響、織田・豊臣による統一事業の諸政策の目的などに着目して、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 ○世界の動きと織田・豊臣による統一事業について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	◎	8
	学年末考査				◎	○		1

合計

78

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 数学 科目： 代数1 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 中学校数学1（教育出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

科目 代数1 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、比例と反比例、1次関数などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	正の数と負の数 【知識及び技能】 正の数と負の数の必要性和意味を理解し、四則計算ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う。	・指導事項 正の数と負の数、加法と減法、乗法と除法、四則の混じった計算 ・教材 体系数学1代数編 ・一人1台端末の活用 タブレット端末を活用した問題演習、説明し合う活動	【知識及び技能】 正の数と負の数の必要性和意味を理解し、四則計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合うことができる。	○	○	○	17
	中間考査			○	○	○	1
	式の計算 【知識及び技能】 文字を用いることの必要性和意味を理解するとともに、文字を用いた式における乗法と除法の表し方を理解する。また、簡単な一次式の加減乗除の計算ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う。	・指導事項 文字式、多項式の計算、単項式の乗法と除法、式の値、文字式の利用 ・教材 体系数学1代数編 ・一人1台端末の活用 タブレット端末を活用した問題演習、説明し合う活動	【知識及び技能】 文字を用いることの必要性和意味を理解するとともに、文字を用いた式における乗法と除法の表し方を理解できる。また、簡単な一次式の加減乗除の計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合うことができる。	○	○	○	17
	期末考査			○	○	○	1
2 学 期	方程式 【知識及び技能】 方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解するとともに、簡単な一次方程式や連立方程式を解くことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 等式の性質を基にして、一元一次方程式や連立方程式を解く方法を考察し表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う。	・指導事項 方程式とその解、一次方程式の解き方、一次方程式の利用、連立方程式、連立方程式の利用 ・教材 体系数学1代数編 ・一人1台端末の活用 タブレット端末を活用した問題演習、説明し合う活動	【知識及び技能】 方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解するとともに、簡単な一次方程式や連立方程式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 等式の性質を基にして、一元一次方程式や連立方程式を解く方法を考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合うことができる。	○	○	○	26
	中間考査			○	○	○	1

期	不等式 【知識及び技能】 不等式の必要性和意味及び不等式の解の意味を理解するとともに、簡単な一次不等式や連立不等式を解くことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を基にして、一次不等式や連立不等式を解く方法を考察し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合う。	・指導事項 不等式の性質、不等式の解き方、不等式の利用、連立不等式 ・教材 体系数学 1 代数編 ・一人 1 台端末の活用 タブレット端末を活用した問題演習、説明し合う活動	【知識及び技能】 不等式の必要性和意味及び不等式の解の意味を理解するとともに、簡単な一次不等式や連立不等式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を基にして、一次不等式や連立不等式を解く方法を考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うことができる。	○	○	○	20
	期末考査			○	○	○	1
3 学 期	1 次関数 【知識及び技能】 関数関係の意味を理解し、比例、反比例、1 次関数について理解する。また、座標の意味を理解し、表、式、グラフなどに表すことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 比例、反比例、1 次関数として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合う。	・指導事項 変化と関数、比例とそのグラフ、反比例とそのグラフ、比例、反比例の利用、1 次関数とそのグラフ、1 次関数と方程式、1 次関数の利用 ・教材 体系数学 1 代数編 ・一人 1 台端末の活用 タブレット端末を活用した問題演習、説明し合う活動	【知識及び技能】 関数関係の意味を理解し、比例、反比例、1 次関数について理解できる。また、座標の意味を理解し、表、式、グラフなどに表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 比例、反比例、1 次関数として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見出すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うことができる。	○	○	○	32
	学年末考査			○	○	○	1
							合計
							117

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 数学 科 目： 幾何 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 1 学年 A 組～ D 組
使用教科書： (中学校数学 1 (教育出版))

教科	数学	の目標：						
【知識及び技能】	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。							
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。							
【学びに向かう力、人間性等】	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。							
科目	幾何	の目標：						
<table><tr><th>【知識及び技能】</th><th>【思考力、判断力、表現力等】</th><th>【学びに向かう力、人間性等】</th></tr><tr><td>平面図形と空間図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</td><td>図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力を養う。</td><td>数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。</td></tr></table>			【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	平面図形と空間図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】						
平面図形と空間図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。						

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	平面図形 【知識及び技能】 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現するとともに、基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う。	・指導事項 図形の移動、作図、面積と長さ ・教材 体系数学1 幾何編 ・一人1 台端末の活用 タブレット端末を活用した問題演習、説明し合う活動	【知識及び技能】 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合うことができる。	○	○	○	11
	中間考査			○	○	○	1
	空間図形 【知識及び技能】 空間における直線や平面の位置関係を理解し、扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う。	・指導事項 いろいろな立体、空間における平面と直線、立体のいろいろな見方、立体の表面積と体積 ・教材 体系数学1 幾何編 ・一人1 台端末の活用 タブレット端末を活用した問題演習、説明し合う活動	【知識及び技能】 空間における直線や平面の位置関係を理解し、扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合うことができる。	○	○	○	11
	期末考査			○	○	○	1
2 学 期	図形の性質と合同 【知識及び技能】 平行線や角の性質を理解する。多角形の角についての性質を見いだせることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合う。	・指導事項 平行線と角、多角形の内角と外角 ・教材 体系数学1 幾何編 ・一人1 台端末の活用 タブレット端末を活用した問題演習、説明し合う活動	【知識及び技能】 平行線や角の性質を理解する。多角形の角についての性質を見いだせることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うことができる。	○	○	○	17
	中間考査			○	○	○	1
	図形の性質と合同 【知識及び技能】 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合う。	・指導事項 三角形の合同、証明 ・教材 体系数学1 幾何編 ・一人1 台端末の活用 タブレット端末を活用した問題演習、説明し合う活動	【知識及び技能】 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うことができる。	○	○	○	13
	期末考査			○	○	○	1

3 学 期	三角形と四角形 【知識及び技能】 証明の必要性和意味及びその方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合う。	・指導事項 二等辺三角形、直角三角形の合同、平行四辺形、平行線と面積、三角形の辺と角 ・教材 体系数学1 幾何編 ・一人1台端末の活用 タブレット端末を活用した問題演習、説明し合う活動	【知識及び技能】 証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うことができる。	○	○	○	21
	学年末考査			○	○	○	1
							合計
							78

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 理科 科目： 第1分野（物理） 単位数： 1 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ D 組
 使用教科書： （ 新しい科学 1 （東京書籍） ）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数多くの観察、実験などを行い、探究の過程を通して科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度及び、科学的な根拠に基づいて多面的に判断しようとする態度を養う。

科目 第1分野（物理） の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 光と音 【知識及び技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折の規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。	・指導事項 光の反射・屈折 *後期課程「物理基礎」の内容を移行 ・主な実験 ピンホールカメラ 分光計、ナトリウムランプ ・教材 新しい科学 1	【知識・技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光の原理について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折の規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学期	A 光と音 【知識及び技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、凸レンズのはたらきや音の性質について規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。	・指導事項 光の屈折 凸レンズのはたらき 波の性質 音の性質 音と振動 ドップラー効果 *後期課程「物理基礎」の内容を移行 ・主な実験 ガラス直方体 凸レンズ 水波投影機 ばね おんき ・教材 新しい科学 1	【知識・技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音原理について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、凸レンズのはたらきや音の性質について規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学期	B 力の働き 【知識及び技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらき規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。	・指導事項 力の働き 様々な力 力のつり合い *後期課程「物理基礎」の内容を移行 ・主な実験 バネ、パネばかり ・教材 新しい科学 1	【知識・技能】 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、力のはたらきについて理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきについて規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 39

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科：理科

科 目：Adv. 化学 1

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～D 組

使用教科書：新しい科学 1（東京書籍）

理科の目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数多くの観察、実験などを行い、探究の過程を通して科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度及び、科学的な根拠に基づいて多面的に判断しようとする態度を養う。

Adv. 化学 1 の目標：身の回りの物質に関わり、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身の回りの物質について理解する。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	物質に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	物質に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 物質のすがた 【知識及び技能】 身の回りの物質の性質や変化について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 物質のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、問題を見いだし表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物質のすがたに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 身の回りの物質とその性質 ・主な観察、実験、ワークショップ 実験室の危険 ガスバーナーの扱いと加熱の方法 身の回りの物質の性質 など ・教材 新しい科学 1	【知識・技能】 身の回りの物質の性質や変化に着目しながら、身の回りの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見いだし表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質のすがたに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学期	B 水溶液 【知識及び技能】 水溶液の性質について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水溶液について、観察、実験などを通して探究し、問題を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 水溶液に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 水溶液 ・主な観察、実験、ワークショップ 溶解度と温度の関係 再結晶 など ・教材 新しい科学1	【知識・技能】 水溶液の性質に着目しながら、身の回りの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 水溶液について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 水溶液に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	9
	C 状態変化 【知識及び技能】 状態変化と熱、物質の融点と沸点について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 状態変化について、観察、実験などを通して探究し、問題を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 状態変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 状態変化と熱 物質の融点と沸点 熱運動と物質の三態* * 後期課程「化学基礎」の内容を、移行。 ・主な観察、実験、ワークショップ 水溶液の性質 食塩とミョウバンの溶解度 など ・教材 新しい科学1	【知識・技能】 身の回りの物質の性質や変化に着目しながら、状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 状態変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 状態変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考查						1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	D 物質の分離・精製 【知識及び技能】 身の回りの物質の性質や変化を利用した分離・精製の方法について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の分離・精製について、観察、実験などを通して探究し、問題を見いだして表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の分離・精製に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 物質の分離・精製* * 後期課程「化学基礎」の内容を、移行。 ・主な観察、実験、ワークショップ 溶解度の違いを利用した分離方法 沸点の違いを利用した分離方法 その他の分離・精製方法 など ・教材 新しい科学1	【知識・技能】 身の回りの物質の性質や変化に着目しながら、物質の分離・精製についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の分離・精製について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見い出して表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の分離・精製に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1
							合計
							39

※ 高等学校学習指導要領〔化学基礎〕(1)化学と人間生活 (7)化学と物質 のうち ④物質の分離・精製 ⑤熱運動と物質の三態 について、内容を移行して指導する。

※ 中学校学習指導要領〔第1分野〕(2)身の回りの物質 (7)物質のすがた のうち、④気体の発生と性質 については、2学年で扱う。

中等教育学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 Adv.生物1

教科：理科 科目：Adv.生物1 単位数：1 単位
 対象学年組：第1学年 A組～ D組
 使用教科書：（新しい科学1（東京書籍））

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数多くの観察、実験などを行い、探究の過程を通して科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度及び、科学的な根拠に基づいて多面的に判断しようとする態度を養う。

科目 Adv.生物1 の目標： 生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生命に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	生命に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生物の観察と分類の仕方 【知識及び技能】 校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生活していることを見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。 いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	・指導事項 生物の観察 生物の特徴と分類の仕方 ・主な観察、実験、ワークショップ 生物探索 生物の観察 生息場所の観察 ・教材 新しい科学1、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察、生物の特徴と分類の仕方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の観察と分類の仕方についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の観察と分類の仕方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	B 生物と細胞 【知識及び技能】 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	・指導事項 生物と細胞 ・主な観察、実験、ワークショップ 生物の採取 光学顕微鏡の使い方 プレパラートの作成方法 接眼ミクロメーターでの計測方法 ・教材 新しい科学1、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物と細胞に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

2 学 期	C 生物と細胞 【知識及び技能】 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	・指導事項 生物と細胞 ・主な観察、実験、ワークショップ 様々な細胞観察、及び探究 ・教材 新しい科学1、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物と細胞に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	D 生物と細胞 【知識及び技能】 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	・指導事項 生物と細胞 ・主な観察、実験、ワークショップ 様々な生物の細胞観察、及び探究 ・教材 新しい科学1、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物と細胞に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
3 学 期	E 生物の成長と殖え方 【知識及び技能】 体細胞分裂の観察を行い、その順序性を見いだして理解するとともに、細胞の分裂と生物の成長とを関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	・指導事項 細胞分裂と生物の成長 ・主な観察、実験、ワークショップ 様々な生物の細胞分裂の観察 ・教材 新しい科学1、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 生物の成長と殖え方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物の殖え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の成長と殖え方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の成長と殖え方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
						39	

東京都立小石川中等教育学校

【Advanced理Ⅱ地学】年間授業計画

教科:(理科)科目:(Advanced理Ⅱ地学) 対象:(第1学年 A組～ D組)

使用教科書: 新しい科学1(東京書籍)

使用教材:新地学図表(浜島書店)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	火山活動 火山の噴火のようす マグマの粘性と火山の形	① 地図を見ながら、日本には110の活火山があることを知り、最近噴火した火山、訪れたことがある火山、名前を知っている火山などの分類をさせることにより導入とする。 ② 火山の噴火のようすのVTRを視聴しながら、気づいたことを記入させ、火山活動や火山噴出物と地下のマグマとの関係に気づかせ、興味・関心をもたせる。 ③ モデル実験（小麦粉に混ぜる水の量を変え、絞り出した形に注目させる。）を行い、マグマの粘性と火山の形について類推させる。	ワークシート	3
5月	火山噴出物 噴火のようすと火山の形のちがい 火成岩 火山灰の洗い出しと鉱物 有色鉱物と無色鉱物	④ 火山噴出物には、火山ガス、火山灰、火山礫、火山弾、軽石、溶岩などがあることを知りそれぞれの特徴を観察する。 ⑤ マグマ（溶岩）の粘性のちがいによって、噴火のようすやできる火山の形のちがいに規則性があることを見いださせる。また、溶岩の色や形状にもちがいがいることに気づかせる。 ① 火山灰の洗い出しを行い、鉱物に気づかせ、鉱物の特徴について理解させる。 ② 造岩鉱物には、有色鉱物と無色鉱物があることを認知させる。	ワークシート	4
6月		③ 鉱物がはっきりとわかる深成岩とわかりにくい火山岩のちがいに注目させる。 ④ マグマが冷えて固まった岩石を火成岩といい、冷え方によって火山岩と深成岩に分類できることを理解させる。 ⑤ 身のまわりのいろいろなところで火成岩が利用されていることに気づかせる。 ⑥ 火山岩と深成岩のつくりを調べ、組織にちがいのあることに気づかせる。 ・火成岩の組織のちがいは、マグマの冷え方のちがいによることを理解させる。	ワークシート	4
7月		⑦ 火成岩は、種類とふくまれている鉱物の種類や割合によって色がちがうことに気づかせる。 ⑧ 代表的な火成岩が同定できるように練習し、パフォーマンステストを行う。	ワークシート 定期考査	3

東京都立小石川中等教育学校

【Advanced理Ⅱ地学】年間授業計画

教科:(理科)科目:(Advanced理Ⅱ地学) 対象:(第1学年A組～D組)

使用教科書: 新しい科学1(東京書籍)

使用教材: 新地学図表(浜島書店)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
9月	地震 P波とS波の速さの違い 初期微動継続時間と震源距離 緊急地震速報のしくみ	① 地震計の記録から初期微動と主要動があることを知り、地震波には、P波とS波があることを知る。 ② P波とS波の速さの違いをモデル実験により求める。 ③ P波が到着し、S波が到着するまでの揺れを初期微動といい、初期微動継続時間が震源距離に比例することを作図により、理解する。 ④ 緊急地震速報のしくみについて理解する。	ワークシート	5
10月	等発震時曲線 震度とマグニチュード	④ 等発震時曲線を描くことにより、地震波の広がり方について理解する。 ⑤ 震度とマグニチュードの違いについて理解する。 ⑥ 地震による被害 津波、液状化、噴砂についてモデル実験を行いながら理解する。	ワークシート	4
11月	地層 風化・浸食・運搬・堆積 地層の堆積のしかた 堆積構造 地層の広がりと対比 堆積岩	① 風化・浸食・運搬・堆積について理解する。 ② グレーディングの実験を行い、堆積のしかたについて考える。 ③ 地層には、いろいろな堆積構造がみられること、断層や褶曲などの地殻変動の痕跡が見られることを理解する。 ④ 地層の広がりと対比について理解する。 ⑤ 続成作用を受け、堆積岩ができることを理解する。 ⑥ 堆積岩の観察を行い、粒径や化学成分などにより、分類できることを理解する。	ワークシート	4
12月	地質年代と主な示準化石 堆積環境と思想化石	⑦ 堆積岩のパフォーマンステスト ⑧ 地質年代と示準化石について理解する。 ⑨ 堆積環境と示相化石について理解する。	ワークシート 定期考査	3

東京都立小石川中等教育学校

【Advanced理Ⅱ地学】年間授業計画

教科:(理科)科目:(Advanced理Ⅱ地学) 対象:(第 1学年 A組～ D組)

使用教科書: 新しい科学1(東京書籍)

使用教材:新地学図表(浜島書店)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	大地の変動 火山帯と浅発地震、深 発地震 震源の深さとプレート の動き プレート境界、プレ ート内部、大陸内部(活 断層)	① 資料から、世界の火山帯と震央の分布について 調べ、地震発生や火山噴火の原因を、プレートやプ レートの動きなど地球内部のはたらきと関連づけて とらえることができるようにする。 ② 資料から、震源の深さの違いとプレートの動き について理解させる。 ③ 日本の地震の3つのタイプについて理解する。	ワークシ ート	3
2 月	プレートの沈み込みと 火山フロント プレートテクトニクス と大陸の衝突 プルームテクトニクス と火山	④ 火山フロントについて理解する。 ⑤ プレートテクトニクスとプルームテクトニクス について理解する。	ワークシ ート	3
3 月	震源の求め方	⑥ 震源の求め方について話し合う ⑦ 震源を求める ⑧ 震源の深さの求め方について話し合う ⑨ 震源の深さを求める	ワークシ ート 定期考査	3

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：音楽 科目：中学音楽1 単位数：1.5 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

使用教科書：（中学生の音楽1（教育芸術社）／中学生の器楽（教育芸術社）／音楽のハーモニー1（正進社））

教科 音楽 の目標：

- 【知識及び技能】曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 中学音楽1 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 思いを込めて合唱しよう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすること。	・指導事項；歌唱 ・教材；校歌／We'll Find The Way／その先へ／My Voice! ・一人1台端末の活用 等	○				・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながらイメージと音楽との関わりを感じ取ろう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること。音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること。音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。	・指導事項；歌唱 ・教材；主人は冷たい土の中に ・一人1台端末の活用 等	○				・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	5
		・指導事項；鑑賞・創作 ・教材；ジョージズのテーマ／指揮をしてみよう／Let's Create ・一人1台端末の活用 等				○	○	○	○	○	4

	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること。音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること。音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。	・指導事項；鑑賞 ・教材；春 ― 第1楽章 ― ・一人1台端末の活用 等				○	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	○	○	○	4
2 学 期	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすること。	・指導事項；歌唱・合唱 ・教材；朝の風に／君をのせて ・一人1台端末の活用 等				○	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	4
	曲想と音楽の構造とのかかわりを理解して、その魅力を味わおう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること。音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること。音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。	・指導事項；鑑賞 ・教材；魔王 ・一人1台端末の活用 等				○	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	○	○	○	4
	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう 【知識及び技能】 音のつながり方の特徴について理解すること。音楽材の特徴及び音の重なりや反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとすること。	・指導事項；創作 ・教材；リズムゲーム／リズムアンサンブル／リズムチャレンジ／My Melody ・一人1台端末の活用 等				○	音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽を作る。	○	○	○	6

	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう 【知識及び技能】 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。	・指導事項；鑑賞・歌唱 ・教材；日本の民謡／生活や社会の中の音楽／アジアの諸民族の音楽／ソーラン節 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	○	○	○	4
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすること。	・指導事項；歌唱 ・教材；浜辺の歌／赤とんぼ ・一人1台端末の活用 等	○				・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	6
	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう 【知識及び技能】 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。	・指導事項；鑑賞 ・教材；雅楽「越天楽」／箏曲「六段の調」 ・一人1台端末の活用 等				○	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	○	○	○	2
3 学 期	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう 【知識及び技能】 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解すること。創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むこと。		○				曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6

仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすること。	・指導事項；歌唱 ・教材；Let's Search for Tomorrow ・一人1台端末の活用 等		・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	8 合計	
		○	○ ○ ○	58	

中等教育学校 令和5年度（1 学年用） 教科 美術 科目

教 科： 美術 科 目： 中学美術 1 単位数： 1.5 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 開隆堂出版 美術 1 ）

教科 美術 の目標： 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする

【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			絵・ 彫	デ ザ イ ン	工 芸							
1 学 期	1. 「オリエンテーション」 小学校図工で何を学んできたのか。中学校美術で何を学ぶのかを考える。 2. 「色と形でとらえよう1」 B鑑賞(1)イ(イ) [共通事項]	中学校で学ぶ色彩の基礎を学ぶ。 教科書・表現と鑑賞 タブレット アクリルガッシュセット				○	(1) 「知識及び技能」 (知) 形や色彩、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 (2) 「思考力・判断力・表現力」 (鑑) 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 (3) 「学びに向かう力、人間性」 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組む。		○	○	○	5
	3. レタリング「色と形でとらえよう」 A表現(1)イ(イ) (2)ア(ア)(イ) 描く活動 [共通事項]	好きな漢字を一字選び、レタリングの手法で文字をデザインして、文字のイメージを伝える。 教科書・表現と鑑賞 タブレット アクリルガッシュセット ケント紙		○			(1) 「知識及び技能」 (知・技) アクリルガッシュや筆の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 (技) 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表す。 (2) 「思考力、判断力、表現力」 (発) 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練る。 (3) 「主体的に学習に取り組む態度」 (態表) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく構想を練ったり意図に応じて工夫して表したりする表現の学習に取り組む。		○	○	○	3
	4. 「色と形でとらえよう2」 B鑑賞(1)イ(ア) [共通事項]	中学校で学ぶ形態の基礎を学ぶ 教科書・表現と鑑賞 タブレット				○	(1) 「知識及び技能」 (知) 形の性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 (2) 「思考力・判断力・表現力」 (鑑) 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 (3) 「学びに向かう力、人間性」 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組む。		○	○	○	3
	5. 木製コースターを美しく飾ろう A表現(1)イ(ア) (2)ア(ア)(イ) つくる活動 [共通事項]	使う場面を想定しながら、木製のコースターに彫刻刀で装飾を施す。 教科書・表現と鑑賞 タブレット 彫刻刀				○	(1) 「知識及び技能」 (知) 形や材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。 (知) 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 (2) 「思考力・判断力・表現力」 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組む。 (3) 「学びに向かう力、人間性」 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組む。		○	○	○	6

2 学 期	6. 機能美を考えて箸置きを作ろう A表現(1)イ(ウ) (2)ア(ア)イ つくる活動 [共通事項]	使う目的や条件を考えながら、機能と美しさが調和した箸置きを作る。 教科書・表現と鑑賞 タブレット 陶土 粘土ペラ 細工かんな	○			(1)「知識及び技能」 (技)粘土や粘土ペラの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 (技)材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表す。 (2)「思考力、判断力、表現力」 (発)対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさを、作品として立体に表現する。 (3)「学びに向かう力、人間性」 (態表)美術の創造活動の喜びを味わい、意図に応じて工夫して表す表現の学習に取り組む。	○	○	○	5
	7. 本物そっくりな野菜を作ろう A表現(1)ア(ア) (2)ア(ア)イ	本物の野菜を見本にして、粘土で本物そっくりに模刻する。 教科書・表現と鑑賞 タブレット 石粉粘土 粘土ペラ 粘土板 アクリルガッシュ	○			(1)「知識及び技能」 (技)粘土や粘土ペラの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 (技)材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表す。 (2)「思考力、判断力、表現力」 (発)対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさを、作品として立体に表現する。 (3)「学びに向かう力、人間性」 (態表)美術の創造活動の喜びを味わい、意図に応じて工夫して表す表現の学習に取り組む。	○	○	○	10
3 学 期	8. 江戸時代の美術と琳派 B鑑賞ア(ア)イ(イ) [共通事項]	琳派を中心とした江戸時代の美術について学び、自分の考えを持つ。 教科書・表現と鑑賞 タブレット	○			(1)「知識及び技能」 (知)形や材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。 (知)造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 (2)「思考力、判断力、表現力」 (鑑)造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 (3)「学びに向かう力、人間性」 (態鑑)美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考える鑑賞の学習活動に取り組む。	○	○	○	5
	9. 花のイメージを水彩で表そう A表現ア(ア) 描く活動 [共通事項]	花を水彩画で描き、個々の美意識を磨く。 教科書・表現と鑑賞 タブレット 透明水彩絵の具 水彩ボード	○			(1)「知識及び技能」 (技)スケッチや水彩絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 (技)材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表す。 (2)「思考力、判断力、表現力」 (発)対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 (3)「学びに向かう力、人間性」 (態表)美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく構想を練ったり意図に応じて工夫して表したりする表現の学習に取り組む。	○	○	○	6 合計 43

年間授業計画

中等教育学校 令和5年度（1学年用） 教科

教科：保健体育

科目：保健体育

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 大日本図書 中学校保健体育

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

科目 保健体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A ダンス 【知識及び技能】 感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとする、ことなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	・簡単にくり返しのリズムで踊る ・変化のある動きを組み合わせて踊る ・リズムにのって全身で踊る ・仲間と関わりをもって踊る ・簡単な作品をつくって、発表する ・教材 ステップアップ中学体育 ・学習カード ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ○知識 ①仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることを楽しさや喜びを味わうことについて理解している。 ②様々な文化の影響を受け発展してきたことについて理解している。 ③表現の仕方に違いがあることについて、学習した具体例を挙げ理解している。 ④リズムカルな全身の動きに関連した体力が高まることについて、学習した具体例を挙げ理解している。 ○技能 ①多様なテーマ例から具体的なイメージを示すなどして、自らが表現したいイメージを捉えやすくなるようにすることができる。 ②動きを誇張したり、変化を付けたりして、「ひと流れの動き」（表現したいイメージをひと息で踊れるようなまとまり感のある動き）にして表現することができる。 ③変化のあるひとまとまりの表現にして踊ることができる。 【思考・判断・表現】 ①ダンスの特性を踏まえて、表現や交流などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全についての自己の取り組み方などの課題を発見したりして他者に伝えている。 ②表現や交流、仲間との関わり方、安全上の留意点などの発見した課題を、合理的に解決できるよう知識を活用したり、応用したりして他者に伝えている。 ③自己の課題について、自己や仲間が思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、他者にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法を選んだりする学習などに積極的に取り組むことができる。 ②練習の際に、仲間の動きの手助けをしたり、学習課題の解決に向けて仲間に助言したりしようとする、ことなどや、健康・安全に気を配ることができる。	○	○	○	9
	B 陸上競技 短距離走・リレー 【知識及び技能】 短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡してタイミングを合わせることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする、ことなどや、健康・安全に気を配る。	・最大スピードを高めて走る ・加速にあわせて動きを変化させて走る ・タイミングを合わせたバトンパス ・スピードを高めたバトンパスでリレー ・タイム計測 ・教材 ステップアップ中学体育 ・学習カード ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ○知識 ①自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること、古代ギリシアのオリンピック競技やオリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることを理解している。 ②陸上競技の各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術で動きのポイントがあることを理解している。 ③主として高まる体力要素が異なることを理解している。 ○技能 ①自己の最大スピードを高めたり、バトンの受渡してタイミングを合わせたりして、個人やチームのタイムを短縮したり、競走したりできる。 ②滑らかな動きで、腕振りや足の動きを調和させた全身の動きができる。 ③タイミングを合わせると、次走者が前走者の走るスピードを考慮してスタートするタイミングを合わせたり、前走者と次走者がバトンの受渡してタイミングを合わせたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ①陸上競技の特性を踏まえて、動きなどの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全などについての自己の取り組み方の課題を発見したりして他者に伝えている。 ②基本的な動きや効率的な動き、仲間との関わり方、安全上の留意点などの発見した課題を、合理的に解決できるよう知識を活用したり、応用したりして他者に伝えている。 ③自己の課題について、思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、他者にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法を選んだりする学習などに積極的に取り組むことをしている。 ②勝敗や個人の記録などの良し悪しにかかわらず全力を尽くした結果を受け入れ、仲間の健闘を認めようとしている。 ③陸上競技は相手と距離やタイムなどを競い合う特徴があるため、規定の範囲で勝敗を競うといったルールや、相手を尊重するといったマナーを守り、フェアに競うことに取り組もうとすることをしている。 ④練習や競争を行う際に、用具の準備や後片付け、測定結果の記録などの分担した役割に積極的に取り組もうとすることなどや、健康・安全に気を配り、練習場所に関する安全に留意して練習や競争を行うこと、体力に見合った運動量で練習することをしている。	○	○	○	12
	C 水泳 クロール 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付ける。クロールで、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする、ことなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ることができるようにする。	・一定のリズムのキック ・S字をえがくストローク ・ストロークにあわせた呼吸 ・体のローリング動作と連動したストローク ・安定したペースで長く泳いだり、早く泳いだりする。 ・タイム計測 ・教材 ステップアップ中学体育 ・学習カード ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ○知識 ①水泳は、陸上での運動と比較して、水の物理的特性である浮力、抵抗、水圧などの影響を受けながら、浮く、呼吸をする、進むという、それぞれの技術の組合せによって泳法が成立している運動であり、泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であることを理解している。 ②技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントがあることを理解している。 ③水泳は、それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることを理解している。 ○技能 ①一定の距離を、大きな推進力を得るための力強い手の動きと、安定した推進力を得るための力強い足の動き、ローリングを利用した呼吸動作で、速度を速めて泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 ①水泳の特性を踏まえて、泳法などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全などについての自己の取り組み方の課題を発見したりして他者に伝えている。 ②合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、泳法、仲間との関わり方、安全上の留意点などの発見した課題を、合理的に解決できるよう知識を活用したり、応用したりしている。 ③自己の課題について、思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、他者にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①勝敗や個人の記録などの良し悪しにかかわらず全力を尽くした結果を受け入れ、仲間の健闘を認めようとする、ことなどや、健康・安全に気を配ることができる。 ②水泳は相手とタイムなどを競い合う特徴があるため、規定の泳法で勝敗を競うといったルールや、相手を尊重するといったマナーを守り、フェアに競うことに取り組もうとすることをしている。 ③ルールやマナーを守ることや水泳独自の楽しさや安全性、公平性が確保されることを理解し、取り組めるようにしている。 ④分担した役割を果たそうとする、こと、練習や競争を行う際に、用具の準備や後片付けをしたり、タイムを計測したりするなどの分担した役割に積極的に取り組もうとすることなどや、健康・安全に気を配る。 ⑤体の調子を確認してから泳ぐ、プールなど水泳場での注意事項を守って泳ぐ、水深が浅い場所での飛び込みは行わないなどの健康・安全の心得ている。	○	○	○	12
	D 保健 健康な生活と病気予防（1～5）（男女） 【知識及び技能】 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができるようにする。	1. 健康の成り立ち 2. 運動と健康 3. 食生活と健康 4. 休養・睡眠と健康 5. 調和のとれた生活 ・教科書 中学校保健体育 大日本図書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ①健康は、主体と環境を良好な状態に保つことにより成り立っていること、また、健康が阻害された状態の一つが疾病であることを理解している。また、疾病は、主体の要因と環境の要因とが相互に関わりながら発生することを理解している。 ②運動に関連して高まる体力で、水泳は、それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることを理解している。 ③食事には、健康な身体をつくるとともに、運動などによって消費されたエネルギーを補給する役割があることを理解している。 ④休養及び睡眠は、心身の疲労を回復するために必要であること、健康を保持増進するためには、年齢や生活環境等に応じて休養及び睡眠をとる必要があることを理解している。 ⑤心身の健康は生活習慣と深く関わっており、健康を保持増進するためには、年齢、生活環境等に応じた適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝えることができる。	○	○		9
	定期考査			○	○		1

2 学 期	E 器械運動 マット運動 【知識及び技能】 技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うことができるようにする。マット運動で、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする、ことなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	・前転グループ ・後転グループ ・倒立回転グループ ・片足平均立ちグループ ・発表 ・教材 ステップアップ中学体育 ・学習カード ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ○知識 ①技の出来映えを競うことを楽しむ運動として多くの人々に親しまれてきた成り立ちがあること、オリンピック競技大会の種目は体操競技として行われており、主要な競技として発展してきたことを理解している。 ②運動の基本形態を示す名称と、運動の経過における、方向・姿勢・運動などの課題を示す名称によって成り立っていることを理解している。 ③主として高まる体力要素が異なることを理解している。 ○技能 ①技の中で基本的な運動課題をもつ技ができる。 ②技に求められる動きが途切れずに続けてできる。 ③同じ技でも、開始姿勢や終末姿勢を変えて行う、その技の前や後に動きを組み合わせで行う、手の着き方や握りを変えて行うことなどができる。 ④系、技群、グループの基本的な技から発展した技を行うことができる。 ⑤学習した基本的な技、条件を変えた技、発展技の中から、いくつかの技を「はじめ～なか～おわり」に組み合わせで行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①特性を踏まえて、技や技の組合せ方などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全などについての自己の取り組み方の課題を発見したりする見付けている。 ②技や技の組合せ方、仲間との関わり方、安全上の留意点などの発見した課題を、合理的に解決できるよう知識を活用したり、応用したりすることを見付けている。 ③自己の課題について、思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、他者にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法を選んだりする学習などに積極的に取り組むことをしている。 ②仲間の課題となる技や演技がよりよくできた際に、称賛の声をかけることや、繰り返し練習している仲間の努力を認めようとしている。 ③練習の際に、仲間の試技に対して補助したり、挑戦する技の行い方などの学習課題の解決に向けて仲間に助言している。 ④体力や技能の程度、性別や障害の有無等に応じて、自己の状況に合った実現可能な課題の設定や挑戦を認めようとしている。	○	○	○	12
	F 球技 ソフトボール 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること、ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、ことなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	・対人キャッチボール ・捕球送球 ・バット操作 ・ベースランニング ・Tバットティング ・トスバットティング ・守備連携 ・試合 ・教材 ステップアップ中学体育 ・学習カード ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ○知識 ①個人やチームの能力に応じた作戦を立て、得失点をめぐる攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること、ゲームの行い方を理解している。 ②球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、これらの具体的な行い方や活用方法を理解している。 ③主として高まる体力要素が異なることを理解している。 ○技能 ①易しい投球を打ち返したり、定位置で守ったりする攻防を展開できるようにする。 ②自らが出塁したり仲間を進塁させたりして得点を取るために、基本となるバットの握り方（グリップ）や構え方から、ボールを捉える際の体重移動（踏み込み）、バットの振り方（テイクバックやスイング）、ボールを捉えた後の身体や用具の操作（フォロースルー）などで、バットを振り抜きボールを打ち返すことができる。 ③次の塁をねらって全力で塁を駆け抜けたり、打球の状況によって止まったりするなどのボールを持たないときの動きができる。 ④ボールを受ける前の身体の構え方（準備姿勢）から、打球の通過コースや落下地点への移動の仕方（ステップ）、基本となるグラブの使い方（キャッチング）、ボールの握り方や投げ方（スローイング）などで、ゴロやフライを捕ったり、ねらった方向にボールを投げたり、味方からの送球を受けたりすることができる。 ⑤投球ごとに、各ポジションの決められた位置に戻ったり、打球や送球などに備える姿勢で構えたりするなどのボールを持たないときの動きのことができる。 【思考・判断・表現】 ①球技の特性を踏まえて、ボール操作やボールを持たないときの動き及び攻防などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全などについての自己の取り組み方の課題を発見したりすることを見付けている。 ②ボール操作やボールを持たないときの動き、攻防、仲間との関わり方、安全上の留意点などの発見した課題を、合理的に解決できるよう知識を活用したり、応用したりすることを見付けている。 ③自己の課題について、自己や仲間が思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、他者にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法を選んだりする学習などに積極的に取り組むことをしている。 ②チームや個人で勝敗を競う特徴があるため、規定の範囲で勝敗を競うといったルールや相手を尊重するといったマナーを守ったり、相手や仲間の健康を認めたりして、フェアなプレイに取り組もうとすることをしている。 ③自己の課題の解決に向けた練習方法や作戦について話し合う場面で、自らの考えを述べるなど積極的に話合いに参加しようとすることをしている。	○	○	○	12
	G 体づくり運動 【知識及び技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係や心身の状態に気づき、仲間と積極的に関わり合うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話合いに参加しようとする、ことなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	・体づくり運動の意義 ・体ほぐしの運動 ・運動の組合せ ・教材 ステップアップ中学体育 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ①自他の心と体に向き合って心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、進んで運動に取り組む気持ちを高めたり、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めたりするといった意義があることを理解している。 ②体ほぐしの運動においては、心と体の関係や心身の状態に気づく、仲間と積極的に関わり合うといったねらいに応じた行い方があることを理解している。 ③ねらいや体力の程度に応じて、適切な強度、時間、回数、頻度などを考慮した運動の組合せが大切であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ①体づくり運動の特性を踏まえて、動きの組合せ方などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全などについての自己の取り組み方の課題を発見したりしている。 ②動きの組合せ方、仲間との関わり方、安全上の留意点などの発見した課題を、合理的に解決できるよう知識を活用したり、応用したりすることを見付けている。 ③自己の課題について、自己や仲間が思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、他者にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、運動を選んだり組み合わせたりする学習などに積極的に取り組むことをしている。 ②運動を行う際、仲間の体を支えたり押ししたりして補助したり、高めようとする動きなどの学習課題の解決に向けて仲間に助言しようとするなど、ことなど、 ③体の動きには、体力や性別、障害の有無等に応じた違いがあることを認めようとすることをしている。 ④ねらいに応じた行い方を話し合ったり、課題の合理的な解決に向けて話し合ったりする場面で、自らの考えを述べるなど積極的に参加しようとすることをしている。	○	○	○	8

3 学 期	H 体育理論 【知識及び技能】 運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ 発展してきたことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むこと	・運動やスポーツの多様性 ・教科書 中学校保健体育 大日本図書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりする必要性や、競技に応じた力を試したり、記録等を達成したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生みだされてきたことを理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 運動やスポーツの必要性と楽しさ、運動やスポーツへの多様な関わり方、運動やスポーツの多様な楽しみ方について、習得した知識を活用して、運動やスポーツとの多様な関わり方や楽しみ方についての自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて、思考し判断するとともに、自己の意見を言語や記述を通して他者に伝えられるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動やスポーツが多様であることを理解することや、意見交換や学習ノートの記述などの、思考し判断するとともにそれらを表現する活動及び学習を振り返る活動などに積極的に取り組むことをしている。	○	○	○	5
	I 保健 心身の機能の発達と心の健康（1～4）（男女） 【知識及び技能】 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができるようにする。	1. 身体機能の発達 2. 生殖に関わる機能の成熟 3. 精神機能の発達と自己形成 4. 欲求やストレスへの対処と心の健康 ・教科書 中学校保健体育 大日本図書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ①身体発育・発達には、骨や筋肉、肺や心臓などの器官が急速に発育し、呼吸器系、循環器系などの機能が発達する時期があること、また、その時期や程度には、人によって違いがあることを理解している。 ②思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解している。 ③ 心は、知的機能、情意機能、社会性等の精神機能の総体として捉えられ、それらは生活経験や学習などの影響を受けながら、脳の発達とともに発達することを理解している。 ④精神と身体には、密接な関係があり、互いに様々な影響を与え合っていることを理解している。 【思考・判断・表現】 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。	○	○		5
	定期考査			○	○		1
	J 陸上競技 長距離走 【知識及び技能】 自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。ペースを守って走るとは、設定した距離をあらかじめ決めたペースで走ることである。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ること。	・12分間走 ・1500m走/1000m走 ・教材 ステップアップ中学体育 ・学習カード ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ○知識 ①自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること、古代ギリシアのオリンピック競技やオリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることを理解している。 ②技術の名称や行い方では、陸上競技の各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術で動きのポイントがあることを理解している。 ③主として高まる体力要素が異なることを理解している。 ○技能 ①設定した距離をあらかじめ決めたペースで走ることができる。 ②自分にあったピッチとストライドで走ることができる。 【思考・判断・表現】 ①陸上競技の特性を踏まえて、動きなどの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全などについての自己の取り組み方の課題を発見したりすることを他者に伝えている。 ②基本的な動きや効率的な動き、仲間との関わり方、安全上の留意点などの発見した課題を、合理的に解決できるよう知識を活用したり、応用したりすることを他者に伝えている。 ③自己の課題について、思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、他者にわかりやすく伝えたりすることを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①陸上競技に積極的に取り組み、発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法を選んだりする学習などに積極的に取り組むことをしている。 ②勝敗などを認め、勝敗や個人の記録などの良し悪しにかかわらず全力を尽くした結果を受け入れ、仲間の健闘を認めようとしている。 ③分担した役割を果たそうとし、練習や競争を行う際に、用具の準備や後片付け、測定結果の記録などの分担した役割に積極的に取り組もうとすることなどを行っている。 ④健康・安全に気を配り、練習場所に関する安全に留意して練習や競争を行うこと、体力に見合った運動量で練習することをしている。	○	○	○	9
	K 球技 バスケットボール（男子） 【知識及び技能】 ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	・ボール操作 ・パス、キャッチ ・ゴール下シュート ・動きながらのシュート ・レイアップシュート 2対1、2対2 ・3対3、 ・教材 ステップアップ中学体育 ・学習カード ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ○知識 ①個人やチームの能力に応じた作戦を立て、得失点をめぐる攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること、ゲームの行い方を理解している。 ②球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、これらの具体的な行い方や活用方法を理解している。 ③主として高まる体力要素が異なることを理解している。 ○技能 ①ボール操作とは、手や足などを使ってシュートやパスをしたり、ボールをキープしたりすることができる。 ②攻撃の際のボールを持たないときに、得点をねらってゴール前の空いている場所に走り込む動きや、守備の際に、シュートやパスをされないように、ボールを持っている相手をマークする動きができる。 【思考・判断・表現】 ①球技の特性を踏まえて、ボール操作やボールを持たないときの動き及び攻防などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全などについての自己の取り組み方の課題を発見したりすることを見付けている。 ②ボール操作やボールを持たないときの動き、攻防、仲間との関わり方、安全上の留意点などの発見した課題を、合理的に解決できるよう知識を活用したり、応用したりすることを見付けている。 ③自己の課題について、自己や仲間が思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、他者にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法を選んだりする学習などに積極的に取り組むことをしている。 ②チームや個人で勝敗を競う特徴があるため、規定の範囲で勝敗を競うといったルールや相手を尊重するといったマナーを守ったり、相手や仲間の健闘を認めたりして、フェアなプレイに取り組もうとすることなどを行っている。 ③自己の課題の解決に向けた練習方法や作戦について話し合う場面で、自らの考えを述べるなど積極的に話合いに参加しようとするなどを行っている。				
	L 球技 サッカー（女子） 【知識及び技能】 ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	・パス ・ドリブル ・シュート ・鳥かご ・ゲーム ・教材 ステップアップ中学体育 ・学習カード ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ○知識 ①個人やチームの能力に応じた作戦を立て、得失点をめぐる攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること、ゲームの行い方を理解している。 ②球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、これらの具体的な行い方や活用方法を理解している。 ③主として高まる体力要素が異なることを理解している。 ○技能 ①ボール操作とは、手や足などを使ってシュートやパスをしたり、ボールをキープしたりすることができる。 ②攻撃の際のボールを持たないときに、得点をねらってゴール前の空いている場所に走り込む動きや、守備の際に、シュートやパスをされないように、ボールを持っている相手をマークする動きができる。 【思考・判断・表現】 ①球技の特性を踏まえて、ボール操作やボールを持たないときの動き及び攻防などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全などについての自己の取り組み方の課題を発見したりすることを見付けている。 ②ボール操作やボールを持たないときの動き、攻防、仲間との関わり方、安全上の留意点などの発見した課題を、合理的に解決できるよう知識を活用したり、応用したりすることを見付けている。 ③自己の課題について、自己や仲間が思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、他者にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法を選んだりする学習などに積極的に取り組むことをしている。 ②チームや個人で勝敗を競う特徴があるため、規定の範囲で勝敗を競うといったルールや相手を尊重するといったマナーを守ったり、相手や仲間の健闘を認めたりして、フェアなプレイに取り組もうとすることなどを行っている。 ③自己の課題の解決に向けた練習方法や作戦について話し合う場面で、自らの考えを述べるなど積極的に話合いに参加しようとするなどを行っている。	○	○	○	12
	M 保健 心身の機能の発達と心の健康（1～4） 【知識及び技能】 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができるようにする。	1. 身体機能の発達 2. 生殖に関わる機能の成熟 3. 精神機能の発達と自己形成 4. 欲求やストレスへの対処と心の健康 ・教科書 中学校保健体育 大日本図書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ①身体発育・発達には、骨や筋肉、肺や心臓などの器官が急速に発育し、呼吸器系、循環器系などの機能が発達する時期があること、また、その時期や程度には、人によって違いがあることを理解している。 ②思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解している。 ③ 心は、知的機能、情意機能、社会性等の精神機能の総体として捉えられ、それらは生活経験や学習などの影響を受けながら、脳の発達とともに発達することを理解している。 ④精神と身体には、密接な関係があり、互いに様々な影響を与え合っていることを理解している。 【思考・判断・表現】 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。	○	○		9
	定期考査			○	○		1
							合計
							117

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	以下の活動を通して、基本的な知識・理解を豊かにし、日常を豊かにするための思考力・判断力及び主体的に日常に活用する態度を育成する： ・作物の栽培の仕方を学ばせる ・栽培に必要なものとして栽培容器、水やり、日当たり、風通しについて知らせる ・人口の増加と食料生産の関わりを知り食料不足や飢餓の現状について考えさせる ・作物の生育の仕方を知り生育の規則性と作業の適期について調べさせる ・作物を栽培させて苗を育てるための技術を知り作物に適した手入れを工夫させる ・栽培計画表をまとめさせる	・生物育成に関する技術 ・栽培に必要な条件 ・作物の生育の仕方を知り生育の規則性と作業の適期について調べさせる ・作物を栽培させて苗を育てるための技術を知り作物に適した手入れを工夫させる ・栽培計画表をまとめさせる	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	1
			【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	2
	・栽培に必要な水・温度・空気について重要性を考えさせる ・間引きの要領と意味を考察する ・肥料の必要性と追肥の役割を理解させる ・病害虫予防にはどのようなものがあるか調べさせる	・栽培に必要な環境 ・間引きと追肥 ・病害虫防除	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	2
	・気象、土壌、生物的要素についての理解を深める ・光合成のしくみについて知らせる ・肥料の三要素とその成分の役割について調べさせる ・自分の栽培している作物の最適な手入れ方法を考えさせる	・生物育成の技術・知識 ・光合成のしくみ ・肥料の種類	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	2
	期末考査			○	○	○	0.5
2 学 期	・身のまわりの機器で、どのようなエネルギーを利用して動作するのかの製作を通して学習する ・電気エネルギーから光エネルギーへの変換を学ぶ	・電気エネルギーの変換と利用方法 ・電気エネルギーから光エネルギーの変換	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	3
	・電気製品を作成しながら抵抗・コンデンサ・トランジスタの働きを回路計等で確かめる ・情報のデジタル化について知り情報を安全に利用することを学ばせる ・情報のデジタル化の方法・情報量の単位・ビット・バイトを理解させる	・トランジスタの原理 ・コンデンサ抵抗の働き ・電磁波の種類 ・ネットワークを支える技術 ・情報のデジタル化	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	期末考査			○	○	○	0.5
3 学 期	・入力機能、出力機能、演算機能、記憶機能、制御機能の各機能の働きを理解させる ・マザーボード、ハードディスク、CPUメモリー等の実物を見せながら理解を深めさせる ・基本ソフトウェア（OS）と応用ソフトウェアの違いについて調べさせその必要性を考えさせる ・プログラム学習をおこなう	・コンピュータの基本 ・コンピュータのしくみ ・ハードウェアとソフトウェア ・OSの種類 ・プログラムで電気製品を制御する	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	・情報通信ネットワークのしくみと機器について知らせる ・LAN、WAN、ルータ、ハブなどの説明 ・インターネットの仕組みを理解させ、なぜIPアドレスが必要と考えさせる ・情報をやり取りするには一定の手順を決めておく必要があることを学ばせる	・情報通信ネットワーク ・LANのしくみ ・インターネットのしくみ ・通信プロトコル	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	2
	学年末考査			○	○	○	0.5
							合計
							19.5

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科： 家庭科 科 目： 家庭 單位數： 1 單位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（技術・家庭 家庭分野（開隆堂））

教科 家庭科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家族・家庭の機能について理解を深め、 庭、衣食住、消費や環境などについて、 に必要な基礎的な理解を図るとともに、 技能を身に付けるようにする。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見 だして課題を設定し、解決案を構想し、実践を評 価・改善し、考察したことを論理的に表現するな ど、これからの生活を展望して課題を解決する力 を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家 族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向 けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度 を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・小学校の学習内容を振り返る ・食事の果たす役割や健康と食事とのかわりについて考える	家庭分野ガイダンス 1 食事の役割と食習慣 ① 食事の役割 ② 健康によい食習慣	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	・栄養素の働きを知り、自分の食生活の改善点を考える	2 中学生に必要な栄養素を満たす食事 ①中学生の発達と必要な栄養体に入った栄養素のゆくえ	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	3
	・基礎的技術を習得する (準備、調理器具の取り扱い、後片付けなど) ・食品を栄養的な特徴によって分類し食品群にまとめられる	調理 基礎技能実習（1） 2 ②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	・必要な栄養を満たす献立を考え、工夫することができる	1日にとりたい食品と分量 2 ③栄養バランスを目で見て判断	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	期末考査			○	○	○	1
2 学 期	・着る目的、場所に応じた着用を考える ・入手から着用、処分までを計画的におこなえるようにする	1 目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	6
	・基礎的技術を習得する (準備、調理器具の取り扱い、後片付けなど) ・衣服のはたらきを考え、目的に応じた着用を工夫し、適切な選択ができる ・以下の作品制作に必要な裁縫用具の基礎的扱いを習得する： 生活を豊かにするものの製作	基礎技能実習（2） 2 生活を豊かにするものの製作 ①製作の基礎・基本	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	8
	期末考査			○	○	○	1
3 学 期	・政策計画を立てて製作を工夫する。	2 ②生活を豊かにするものの製作	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	4
	・日本の民族衣装「和服」について考え、和服と洋服の構成の違いを考える。 ・自分の衣服計画が立てられるようになる。	2 ③つなげよう和服の文化 ④上手な衣服の選択	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	6
	学年末考査			○	○	○	1

合計	
----	--

39

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 外国語 科目： 英語 単位数： 4 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書： (New Horizonb English Course 1 (東京書籍)、New Treasure English Series Third Edition Stage 1 (Z会))

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 「や」	話 「発」	書					
1 学 期	Lesson 1 【知識及び技能】 ・be動詞、指示代名詞について理解し、正しく使う ・カナの自己紹介を正しく理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己紹介をする 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	・指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・教材 New Treasure English Series Stage 1, New Horizon English Course 1 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・助動詞を用いた文の意味を理解している ・助動詞を用いた文の理解をもとに、話したり（やりとり、発表）書いたりしている 【思考力、判断力、表現力等】 ・クラスメイトに自分について紹介するために自己紹介をしている 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことに取り組もうとしている	○	○	○	7
	Lesson 2 【知識及び技能】 ・人称代名詞や疑問詞について理解し、正しく使う ・ソウスケの家族について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・家族や身近な人を紹介する 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	・指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・教材 New Treasure English Series Stage 1, New Horizon English Course 1 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・不定詞について理解し、正しく使っている ・沖縄の三線について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・家族や身近な人をしてしている 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	○	○	○	7
	Lesson 3 【知識及び技能】 ・一般動詞について理解し、正しく使う ・寿司職人へのインタビューを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・憧れの人物を紹介する 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	・指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・教材 New Treasure English Series Stage 1, New Horizon English Course 1 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・一般動詞について理解し、正しく使っている ・寿司職人へのインタビューについて理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・憧れの人物を紹介している 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	○	○	○	8
	中間考査		○	○			○		○	○		2
	Lesson 4 【知識及び技能】 ・一般動詞（3人称単数現在）について理解し、正しく使う ・動物の特徴に関する説明を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が好きな動物の特徴について説明する 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	・指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・教材 New Treasure English Series Stage 1, New Horizon English Course 1 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・一般動詞（3人称単数現在）について理解し、正しく使っている ・動物の特徴に関する説明について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が好きな動物の特徴について説明している 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとしている	○	○	○	11

2 学 期	Lesson 5 【知識及び技能】 ・所有代名詞、How+形容詞...?について理解し、正しく使う ・バリ島の文化や風土について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・行ってみたい国についてプレゼンテーションをする 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	・指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・教材 New Treasure English Series Stage 1, New Horizon English Course 1 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	Lesson 5 【知識及び技能】 ・所有代名詞、How+形容詞...?について理解し、正しく使っている ・バリ島の文化や風土について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・行ってみたい国についてプレゼンテーションをしている 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとしている	○	○	○	○	11
	期末考査		○	○			○		○	○			2
	Lesson 6 【知識及び技能】 ・命令文、canを用いた文について理解し、正しく使う ・ボランティア活動の紹介について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が行ってみたいボランティア活動について発表する 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	・指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・教材 New Treasure English Series Stage 1, New Horizon English Course 1 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	Lesson 6 【知識及び技能】 ・命令文、canを用いた文について理解し、正しく使っている ・ボランティア活動の紹介について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が行ってみたいボランティア活動について発表している 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとしている	○	○	○	○	11
	Lesson 7 【知識及び技能】 ・現在進行形について理解し、正しく使う ・ホスピタルクラウンについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界のホスピタルクラウンについて調べ、発表する 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	・指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・教材 New Treasure English Series Stage 2, New Horizon English Course 2 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	Lesson 7 【知識及び技能】 ・現在進行形について理解し、正しく使っている ・ホスピタルクラウンについて理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界のホスピタルクラウンについて調べ、発表している 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	○	○	○	○	11
	Lesson 8 【知識及び技能】 ・名詞、不定代名詞、再帰代名詞について理解し、正しく使う ・平和への思いをのせたダンスについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・平和に貢献した人物について調べ、紹介をする 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	・指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・教材 New Treasure English Series Stage 2, New Horizon English Course 2 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	Lesson 8 【知識及び技能】 ・名詞、不定代名詞、再帰代名詞について理解し、正しく使っている ・平和への思いをのせたダンスについて理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・平和に貢献した人物について調べ、紹介をしている 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	○	○	○	○	12
	中間考査		○	○			○		○	○			2
	Lesson 9 【知識及び技能】 ・be動詞の過去形、過去進行形について理解し、正しく使う ・アレックスのレモネードについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界を変えるために自分たちができることについて考え、発表する 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	・指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・教材 New Treasure English Series Stage 1, New Horizon English Course 1 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	Lesson 9 【知識及び技能】 ・分詞による修飾について理解し、正しく使っている ・アレックスのレモネードについて理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界を変えるために自分たちができることについて考え、発表している 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとしている	○	○	○	○	13
	Lesson 10 【知識及び技能】 ・be going toを用いた文、will, may, mustについて理解し、正しく使う ・Oohoについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境保全のために自分たちができることを考え、発表する 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする	・指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・教材 New Treasure English Series Stage 1, New Horizon English Course 1 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	Lesson 10 【知識及び技能】 ・be going toを用いた文、will, may, mustについて理解し、正しく使っている ・Oohoについて理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境保全のために自分たちができることを考え、発表している 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとしている	○	○	○	○	13

	期末考査		○	○			○		○	○		2
3 学 期	Lesson 11 【知識及び技能】 ・ There is～, There are ～について理解し、正しく使う ・ 世界の貧困問題について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 世界の貧困問題を解決するためにできることを考え、プレゼンテーションを行う 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 上記のことについて取り組もうとする	・ 指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・ 教材 New Treasure English Series Stage 1, New Horizon English Course 1 ・ 一人1 台端末の活用	○	○	○	○	○			○	○	21
	Lesson 12 【知識及び技能】 ・ 比較表現（同等比較、比較級、最上級）について理解し、正しく使う ・ インドで使われている言語について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 世界の言語の特徴を調べ、紹介し合う 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 上記のことについて取り組もうとする	・ 指導事項 4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う ・ 教材 New Treasure English Series Stage 1, New Horizon English Course 1 ・ 一人1 台端末の活用	○	○	○	○	○			○	○	21
	学年末考査		○	○			○			○	○	2

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 道徳

単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 中学生の道徳 自分を見つめる 1（廣済堂あかつき） ）

教科 道徳 の目標：

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・自立心や自律性の大切さに気づき、自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行していこうとする道徳的実践意欲を培う。 ・目標の達成が希望や勇気を生み出すことに気づき、目標に向かって困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする道徳的実践意欲を培う。 ・自律的な行動と責任の大切さに気づき、自律的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ道徳的判断力を高める。	・この人生の主人公 ・目標は小刻みに ・裏庭のできごと	・現在の自分自身を振り返り、主体的に生きることについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。 ・自分の目標を振り返り、着実にやり遂げることにについて自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。 ・自律的な行動と責任の大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				2
	・生命が生きることの意味について考えることを通して、かけがえのない自他の生命を尊重する道徳的実践意欲を培う。 ・誰もがもっている人間らしいよさを認め、弱さに負けず自分に恥じない生き方を見出そうとする道徳的心情を育む。 ・異性間においても互いに相手を理解し、よさを認め合うことの大切さに気づき、心から信頼し合える人間関係を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。	・あなたの「生きようとする力」 ・いつわりのバイオリン ・アイツ	・生きることの意味について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。 ・自分に恥じない生き方を見出そうすることについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。 ・異性間においても互いに相手を理解し、よさを認め合うことの大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				4
	・心と形が一体となった礼儀の意義に気づき、時と場に応じて適切な言動をとうろとする道徳的実践意欲を培う。 ・節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をしようとする道徳的実践意欲を培う。 ・正義と公正さを重んじ、いじめのない社会の実現に努める道徳的態度を養う。 ・自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努める道徳的実践意欲を培う。	・半分おとな 半分こども ・釣りざおの思い出 ・ヨシト ・あのハチドリのように—ワンガリ・マータイ—	・自分自身の礼儀について振り返りながら、礼儀の意義について自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。 ・節度を守り節制に心掛けていくことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。 ・いじめのない社会の実現に努めることについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。 ・自然環境を守ることにについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				4
	・自己の向上を図り、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする道徳的実践意欲を培う。 ・社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員として進んで郷土の発展に努める道徳的実践意欲を培う。	・木箱の中の鉛筆たち ・アップロード作戦	・自己を向上させていくことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。 ・郷土をよりよく発展させていくことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				2
2 学 期	・生命の有限性を理解し、命あるものをいととしみ、かけがえのない生命を尊重する道徳的心情を育む。 ・公共の場において互いに配慮し合い、尊重し合うことの大切さに気づき、社会生活の中で守るべき公德を重んじ、住みよい社会をつくっていこうとする道徳的実践意欲を培う。 ・優れた伝統と文化を育んできた先人たちの努力と精神に気づき、我が国の伝統と文化を	・曙号の死 ・島 耕作 ある朝の出来事 ・音を宿す ・夜のくだもの屋	・かけがえのない生命を尊重することについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。 ・社会生活の中で守るべき公德を重んじることにについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。 ・先人たちの努力と精神が受け継がれてきた我が国の伝統と文化の大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。				4
	・互いに助け合い励まし合う社会連帯の大切さに気づき、社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。 ・想像力を働かせ、好奇心・探究心をもって探究することの大切さに気づき、真理を探究して新しいものを生み出そうとする道徳的実践意欲を培う。 ・深い愛情をもって育ててくれた家族に感謝し、敬愛の念をもつ道徳的心情を育む。 ・法やきまりが自他の生活や権利を守るためにあることに気づき、法やきまりを進んで守り、規律ある社会の実現に努める道徳的判断力を高める。	・加山さんの願い ・ミスター・ヌードル—安藤百福— ・美しい母の顔 ・人に迷惑をかけなければいいのか？	・自分の体験や考えを振り返って、社会参画や社会連帯の大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。 ・現在の自分自身の好奇心や探究心について振り返り、真理を探究して新しいものを生み出すことについて自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。 ・深い愛情をもって育ててくれた家族への感謝と敬愛について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。 ・自分の生活や考えを振り返り、法やきまりの意義について自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。				4

[illegible]

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教 科： 総合的な学習の時間 科 目： 小石川フィロソフィー I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書： (小石川フィロソフィーⅠテキスト（オリジナルテキスト）)

教科 総合的な学習の時間 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習の意義を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 国際的な視点で美社会や美生活の中から問いを問いだし、自分で仮説を立て、情報を集め、整理・分析して、根拠を明らかにしてまとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、社会問題を解決しようとする態度を養う。

科目 小石川フィロソフィーⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習の意義を理解するようにする。	国際的な視点で実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で仮説を立て、情報を集め、整理・分析して、根拠を明らかにしてまとめ・表現することができるようにする。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、社会問題を解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	自分の意見と他者の意見理解、資料整理と活用 【知識及び技能】 新聞紙面の構成について知り、身近な題材で新聞作成できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ビブリオバトルで自分の考えを伝えたり、相手の考えを正しく理解したりできるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の力を分析し、伸ばすべき力を考え身につけられるようになる。	・指導事項 ガイダンス、自己紹介（プレゼンテーション）、読書とは、ビブリオバトル、新聞の構成 ・教材 小石川フィロソフィーⅠ共通テキスト(オリジナルテキスト) ・一人1台端末の活用 タブレット端末を活用した説明し合う活動	【知識及び技能】 新聞紙面の構成を理解し、実際に作成する際の活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて情報を収集して分析し、その傾向を読み取り、批判的に考察し判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象に疑問を持ち、適切な言語表現で問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って筋道立てて説明し伝え合おうとしている。	○	○	○	24
2 学期	聞き取る力、読み取る力 【知識及び技能】 聞き取ったり読み取ったりする際に活用できる方法を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 知識として得た情報処理の方法論を活用して整理できる。 【学びに向かう力、人間性等】 探究的な学習の過程を通して、様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦する。	・指導事項 KJ法、ディベート、バタフライチャート、フラワーシート、読歩構文、マインドマップ。 ・教材 小石川フィロソフィーⅠ共通テキスト(オリジナルテキスト) ・一人1台端末の活用 タブレット端末を活用した説明し合う活動	【知識・技能】 探究の過程について理解し、事象を分析するための基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 課題を多角的、複合的に捉え、課題を解決するために身につけた方法を活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとしている。	○	○	○	20
3 学期	研究テーマ設定とスピーチ発表 【知識及び技能】 自分の興味・関心から研究テーマを決め、先行研究などを参考にして基礎知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 多数の先行研究の結果を基にして、自分の考えをまとめ、スピーチして他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象を捉え、自分の言葉で表現し、他者に自分の考えを伝えたり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察して論理的に説明し伝え合う。	・指導事項 研究テーマの設定、先行研究調査方法、図書室活用法、スピーチ原稿作成方法と発表方法 ・教材 小石川フィロソフィーⅠ共通テキスト(オリジナルテキスト) ・一人1台端末の活用 タブレット端末を活用した説明し合う活動	【知識及び技能】 研究テーマを設定し、先行研究を調査し自分の研究に活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 研究内容に仮説を立て、立証するために資料を活用しながらスピーチ原稿を作成し、自分の考えを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象を捉え、自分の言葉で表現し、他者に自分の考えを伝えたり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察して論理的に説明し伝え合おうとしている。	○	○	○	10
							合計
							54

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：学活

科目：HR

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～

D 組

使用教科書：（

なし

）

教科

学活

の目標：

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題及び将来の生き方を描くために意思決定して、実践したりすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・ 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。 ・ 自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見だし、多様な意見をもとに自ら意思決定をすることができるようにする。 ・ 他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとして、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて悩みや葛藤を乗り越えながら取り組もうとしたりするとともに、将来にわたって自他の健康で安全な生活づくりに配慮しようとする態度を養う。	・ 楽しく豊かで規律のある学級を築いていく自治的な活動を行う。 ・ 集団生活の大切さの理解を深める。 ・ 自主的な学習の意欲や態度の形成を図る。 ・ 夢や希望の実現に向けて計画的に準備することの大切さを学ぶ。 ・ 学習の技術、効果的な勉強法を確立していく。	・ 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けることができる。 ・ 自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見だし、多様な意見をもとに自ら意思決定をすることができる。 ・ 他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとして、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて悩みや葛藤を乗り越えながら取り組もうとしたりするとともに、将来にわたって自他の健康で安全な生活づくりに配慮しようとすることができる。				12
2 学期	・ 学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。 ・ 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。 ・ 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。	・ 行事の意義を理解し意欲を持って取り組むようにする。 ・ 新学期の学級活動への意欲を高めると共に、係を決める。 ・ HR活動や他クラスとの班編成を通して、誰とでも協力できることの大切さを理解する。 ・ 望ましい学級集団の育成を行う。 ・ 自主的な学習の意欲や態度の形成をしていく。 ・ 集団への所属感の高揚を図る。	・ 学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けることができる。 ・ 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができる。 ・ 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとすることができる。				16
3 学期	・ 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義や、現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けるようにする。 ・ 現在の自己の学習と将来の生き方や進路についての課題を見だし、主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くことができるようにする。 ・ 将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	・ 新年の行事を体験しながら、新しく自己を見つめなおすと共に、個々の生徒の具体的な実践事項を決める。 ・ 集団への理解と他者理解に取り組む。 ・ 青年期の理解、自己の個性の理解を育む。 ・ 個性の意義や進路選択と個性の関わり等の一般的な理解を図る。 ・ 学習方法や生活習慣の改善を図る。 ・ 新しい学年に向けた新たな目標設定する。	・ 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義や、現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。 ・ 現在の自己の学習と将来の生き方や進路についての課題を見だし、主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くことができる。 ・ 将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとすることができる。				11
							合計
							39